

## 東濃農林事務所の普及活動状況

令和7年7月

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■水稲・組織経営体等 スマート農業の技術力向上研修を開催

7月14日、多治見市姫地区でスマート農業の技術力向上研修が開催され、生産者等34名が出席した。

スマート農業は、担い手確保や労働力不足の解消といった課題を解決する手段として必要不可欠な技術であり、現在、管内では水稲、施設野菜、酪農など12経営体で導入されている。今回、さらなる導入拡大を図るため、高齢化が進む中山間地域の水稲作において、少ない人材でも経営規模の維持・拡大ができるよう、担い手等を対象に、追肥作業やほ場管理の省力化技術の実演を行った。

追肥作業では、ドローンを用いた高濃度の液肥散布による追肥の実演を行い、散布作業の省力化と夏期の高温下での作業者の負担軽減につながることを期待している。

ほ場管理の省力化では、水稲栽培で必要となる水管理の省力化システムと畦畔のラジコン草刈り機の実演を行った。

参加者から、スマート農機に対する質問等がかわされ、スマート農業に対する関心の高さを示していた。

農業普及課では、中山間地域に適したスマート農業体系を推進し、組織経営体の経営安定を支援していく。



【ドローンの液肥散布】



【ラジコン草刈りの実演】

### 安心して身近な「ぎふの食」づくり

#### ■水稲（清流のめぐみ）・（農）日吉機械化営農組合

##### 岐阜県育成水稲品種「清流のめぐみ」の採種ほ場審査を実施

7月30日に瑞浪市日吉町で、農業普及課による岐阜県育成品種「清流のめぐみ」の採種ほ場審査を実施した。

「清流のめぐみ」は、米実需者の要望に応じたオーダーメイド型の米産地づくりを進める新品種として岐阜県で育種され、高温障害に強く、食味値が高い特徴をもっている。また、生産者・実需者ととともに立ち上げられた研究会において、栽培方法の確立が進められている。

（農）日吉機械化営農組合は、「清流のめぐみ」の種子生産を担い、実需者を通じ県内生産者に種子を供給している。種子生産は、次年度の安定生産に向けて最も重要であることから、農業普及課は、岐阜県主要農作物種子審査実施要領に準じて、出穂期審査を行い、管理状況を確認した。

今後は、糊熟期審査や籾の発芽試験を実施し、次年度の栽培に問題がないことを確認し、県内生産者への健全な種子供給を支援していく。



【審査方法の説明状況】



【一株毎に審査する審査員】